

06.8.29



# 今月の経済・金融情勢

## ～わが国をめぐる経済・金融の現状～

2006年8月

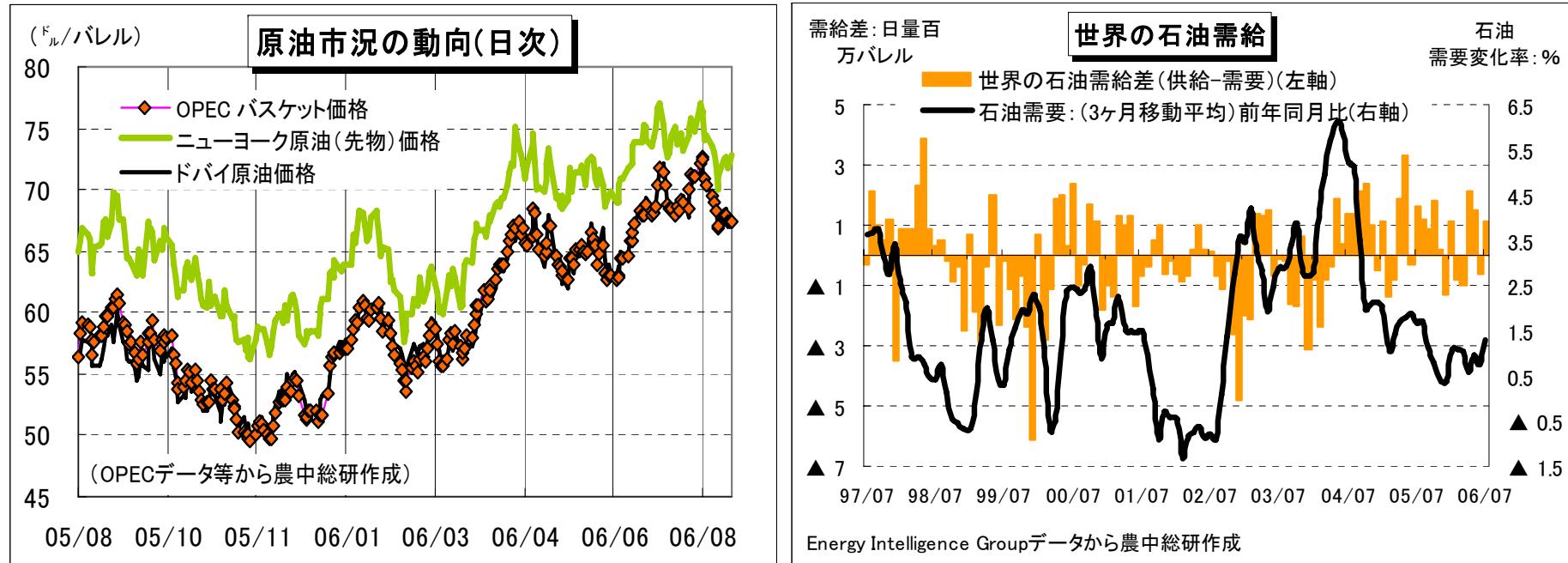
**農林中金総合研究所**

調査第二部 経済金融 I 班

<http://www.nochuri.co.jp/weekly/weekly.html>

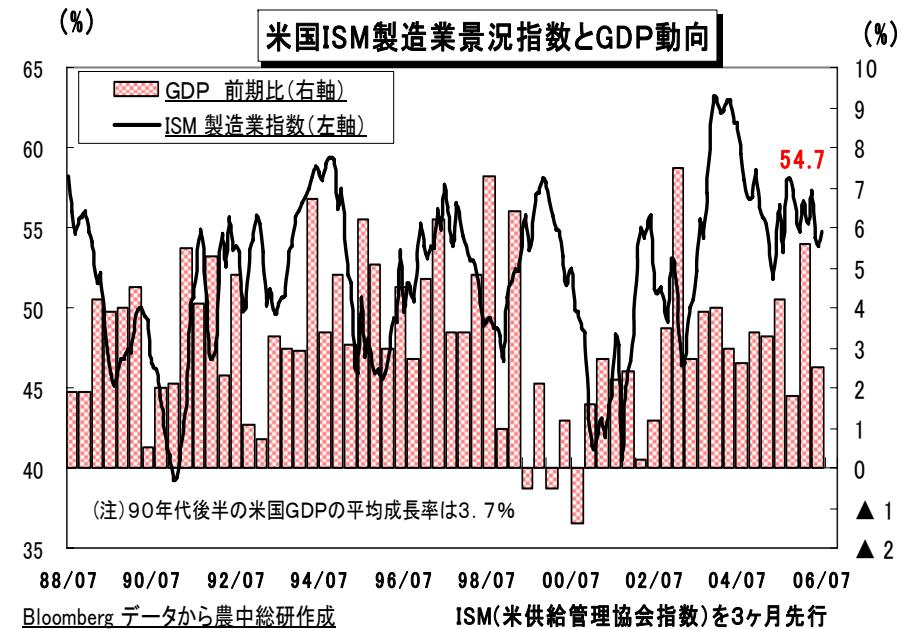
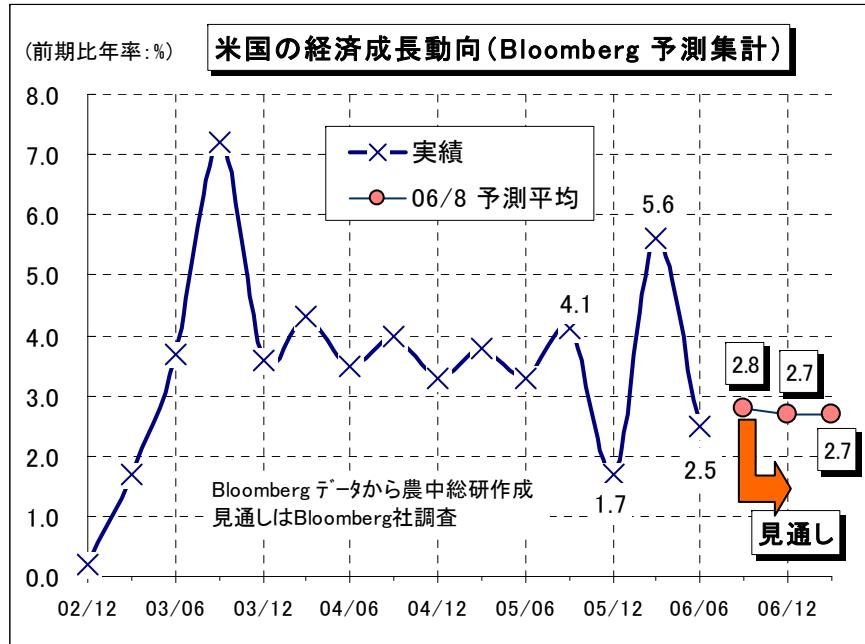
1. 原油価格は、地政学的リスクに対する懸念が高まり、7月14日にはWTI(期近物、終値)が1バレル=77.03ドルと過去最高値を記録。その後も70ドル超の最高値圏での取引が続いている。依然として沈静化の気配がみられない。当面は中東情勢が不安視されるほか、中国・インドなど新興国の高成長による原油需要増加が持続していることもあり、原油価格の高止まりが予想される。
2. 米国経済は堅調な拡大を続けてきたが、雇用者数の伸びが緩やかになっているほか、住宅着工・販売も減少しており、景気減速の兆しが見られる。06年8月調査によれば米国エコノミストは、今後も前期比年率3%弱の成長が続くものの、年後半には利上げの影響が浸透し、伸び率が緩やかに弱まると見込んでいる。一方、米利上げについては2004年6月以来17回連続で利上げが実施してきたが、8月8日に政策金利が5.25%に据え置かれ、約2年ぶりに中止された。今後の物価・経済見通しの変化(米経済がどの程度まで減速するか)次第では、早期の利下げ局面入りも予想される。米長期金利は4.8%を割って推移している。
3. わが国では06年4~6月期の実質GDP成長率(1次速報)が前期比+0.2%(年率換算+0.8%)と、市場予想を下回ったものの、6四半期連続のプラス成長となった。これまで日本経済を牽引してきた「輸出」と「民間消費・設備投資」のうち、輸出が弱含んだものの、個人消費・設備投資が堅調に推移し、民需中心に底堅い回復が続いている。足下6月の鉱工業生産は2ヶ月ぶりに前月比プラスとなり、経産省は先行きも大幅増を見込んでいるが、電子部品・デバイス工業の在庫が積み上がっていることは懸念される。一方、設備投資は企業収益の拡大を受け増加しており、先行指標となる国内機械受注(除く船舶・電力)は7~9月期も前期比プラスとなる見通し。
4. 外国為替市場では、米景気減速観測の一方、日銀の追加利上げ観測の後退もあり、1ドル=115~116円台でもみ合いながら推移した後、8月下旬には消費者物価改定に伴う下振れから日米金利差が縮小しないとの見方が広がりドル高・円安の117円台となった。一方、欧州中央銀行による追加利上げ観測の高まりから対ユーロでは円安が進み、円は8月下旬に最安値を更新。日本の長期金利の目安である新発10年国債利回りは、日銀による追加利上げ観測の後退から、1.7%を割って推移。一方、7月の消費者物価は05年基準改定に伴い下振れし、前年比上昇基調は維持されたものの、7月時点で2ヶ月連続のプラスという状況になった。日経平均株価は世界的な株安から6月中旬に14,200円台まで下落した後、このところは持ち直しの動きも見られ、16,000円前後でもみ合いながら推移している。
5. 政府は8月の「月例経済報告」で景気判断を「回復している」と6ヶ月連続で据え置き。一方、日銀は8月の景況判断を「緩やかに拡大」と、6ヶ月ぶりに上方修正した前月の判断を据え置いた。

# 原油価格：最高値圏での取引が続く



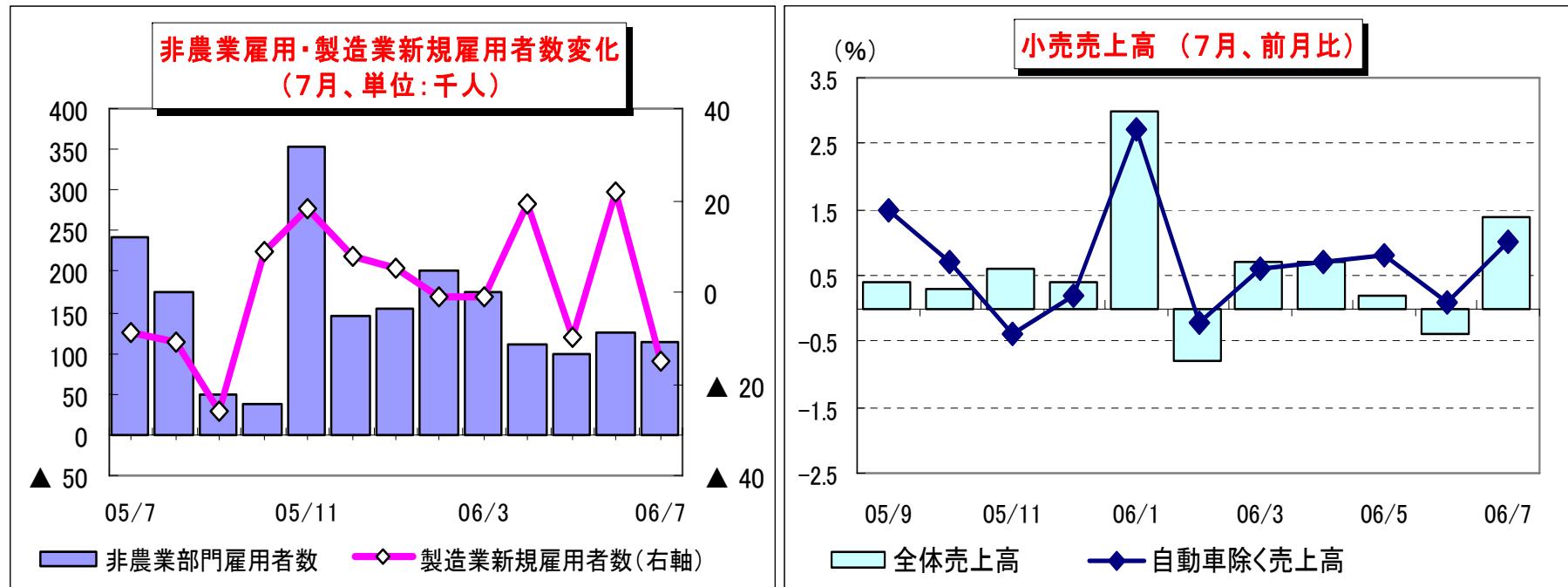
- ・ニューヨーク原油先物価格(WTI期近、終値)は、6月中旬に60ドル/バレル台後半まで低下したが、7月に入り、中東情勢の悪化などにより再び上昇圧力が強まり、7月14日に77.03ドル/バレルと史上最高値を更新した。足元、70ドル/バレル台に高止まっている。
- ・最近の原油価格上昇に影響を与えた要因は、(7/6)北朝鮮がミサイル連射、(7/11)インド南部で通勤電車を狙った同時爆発テロ発生、(7/13)イスラエルがレバノンに侵攻、(7/13)ナイジェリアで武装勢力が施設を破壊、(8/6)英石油大手BPの米アラスカ州油田(全米最大の油田)の一部パイプラインで腐食が発見され、日量最大40万バレルの生産量が11万バレルに減少など。
- ・イラン核開発問題については、7月31日に国連安全保障理事会が、イランに対し核関連活動の停止を要求し、8月末までに応じなければ制裁措置を警告する内容の決議を採択。これに対してイランは8月下旬に正式回答したものの、ウラン濃縮活動の凍結については受け入れる態度を見せておらず、問題解決にはさらに時間がかかると思われる。
- ・当面は、①中国、インドなどの新興国の需要増加から中期的な需給引き締り観測、②OPECの高めの価格政策指向、③中東情勢とテロ懸念などから、原油価格の高止まりが予想される。

# 米国経済①：先行き+2%後半の成長との見方強まる



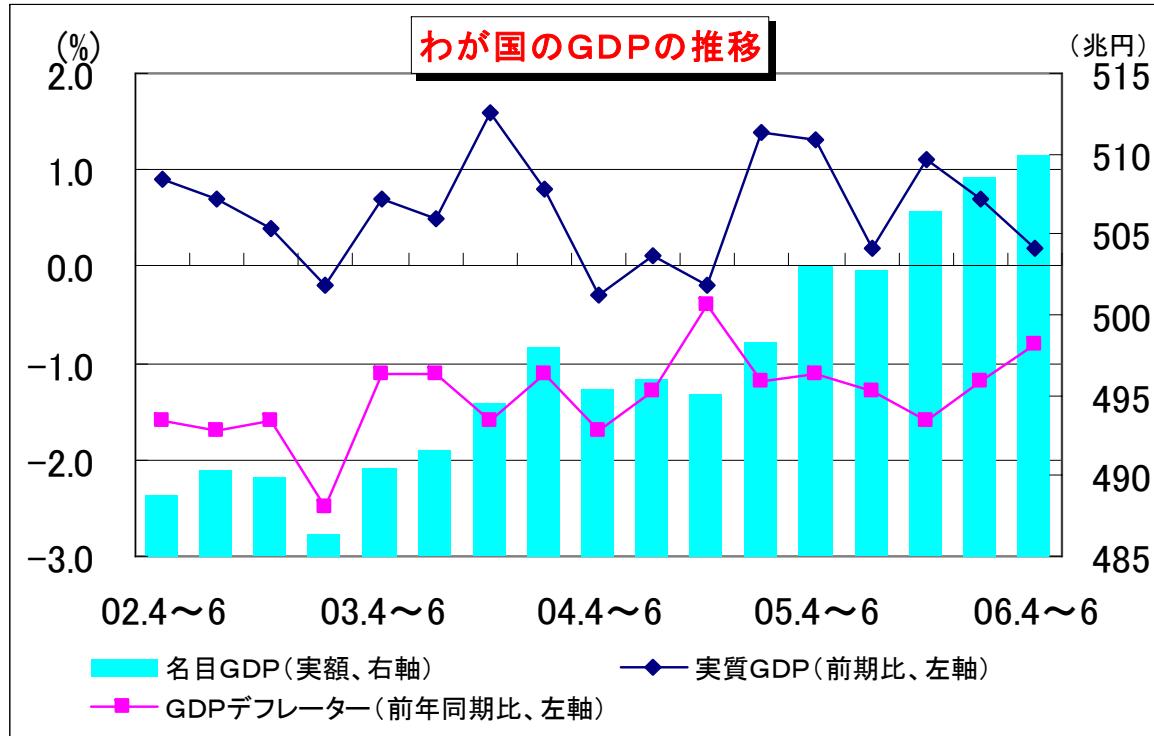
- 米国の06年4～6月期の実質GDP（速報値）は、事前予測（前期比年率+3.0%）を下回る同+2.5%となり、高成長（同+5.6%）となった前期から伸びが鈍化。個人消費や企業の設備投資が減速。06年8月調査によれば米国エコノミストは、過去17回にわたる利上げ効果が浸透し始め、今後は2%台後半の巡航速度での成長が続くと見込んでいる。
- 代表的な企業の景況感指標であり、景気先行指標でもある「全米供給管理協会（ISM）製造業指数」は、7月に前月比+1.7ポイント上昇の54.7。景気判断の分かれ目となる50を39ヶ月連続で上回り、3ヶ月ぶりに上昇した。7月は生産指数が同+4.5ポイント上昇したほか、雇用指数も50.7（前月48.7）と50を回復した。

## 米国経済②：雇用者数の伸びが鈍化、小売売上高は急回復



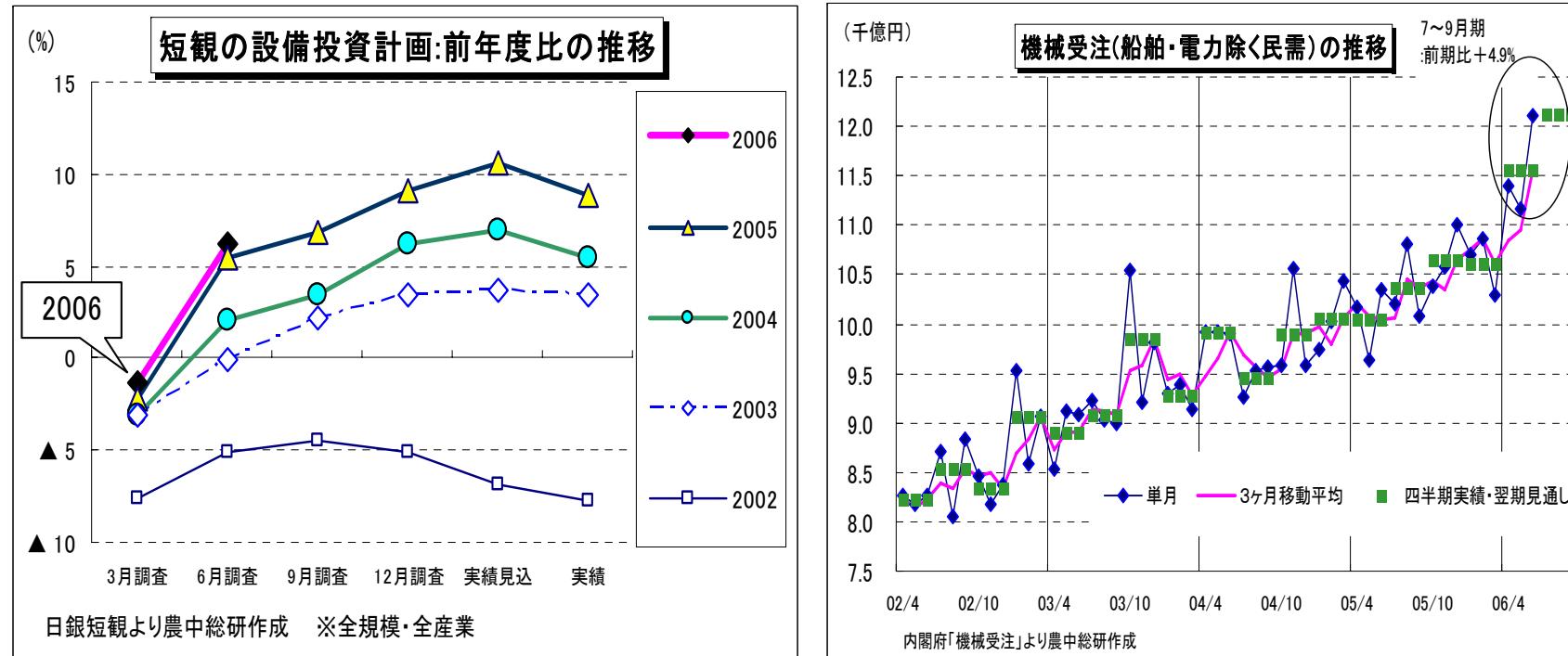
- 7月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数が6月の124千人増加に続き、7月も113千人に留まり、事前予想を下回った。雇用環境を悪化させないために必要な目安(150千人)を割り込んでおり、減速傾向が続いている。一方、平均時給は16.76ドルと、前月から7セントの増加(2ヶ月連続)となり、伸びが継続。
- 7月の全体売上高は前月比+1.4%と、2ヶ月ぶりにプラスとなった。電化製品や建築資材などの売上高が増加し、自動車を除くベースでも前月比+1.0%と伸びが拡大。ただし金利上昇に加え、ガソリン価格の高騰により実質消費が抑制されている可能性もあり、注意する必要がある。

# 国内の経済成長率：6四半期連続のプラス成長



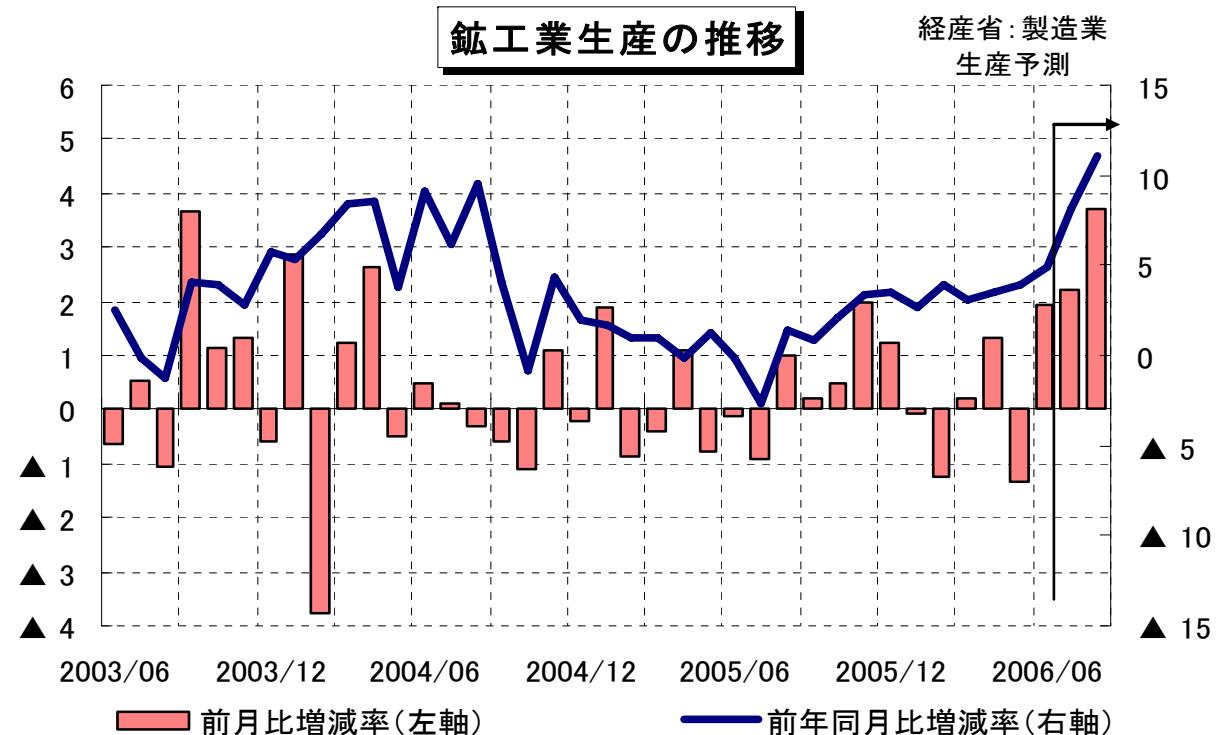
- 06年4～6月期の実質GDP成長率(1次速報)は前期比+0.2% (前期比年率換算+0.8%)と、6四半期連続のプラス成長となった。ただし、成長率は2四半期連続で鈍化が見られる。
- 内容としては、民間消費、設備投資など民間最終需要は堅調さを維持したが、民間在庫の大幅減や輸出の伸び鈍化などにより、全体の成長率は低調なものとなっている。
- 一方、ホームメイド・インフレを示すとされるGDPデフレーターは、前年同期比▲0.8%と大きめのマイナスが残っているが、下落率は縮小傾向が続いている。ただし、前期比では3年ぶりにプラスに転じており、国内企業の価格転嫁も進展し始めている様子が窺える。年度内には前年同期比のマイナスも解消し、プラスに転じる可能性が高い。

# 国内の民間企業設備投資：06年度内は増勢が続く見通し



- 日銀短観(6月調査)の06年度設備投資計画(土地投資額を含む)は、前回3月調査時点から上方修正され、前年度比+6.2%と、6月調査としては1990年以来16年ぶりの高い伸び。また、GDP統計上の設備投資に近い概念である、ソフトウェアを含み土地を除く設備投資額も、同+7.6%と増勢が続く見通し。
- また、設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除く民需)は、6月分が前月比+8.5%と事前予想を大幅に上回り、4~6月期は前期比+8.9%と2四半期ぶりのプラスとなった。内閣府によれば、7~9月期も同+4.9%と増加する見通しとなっている。

# 鉱工業生産①：先行き大幅増を見込んでいるが…

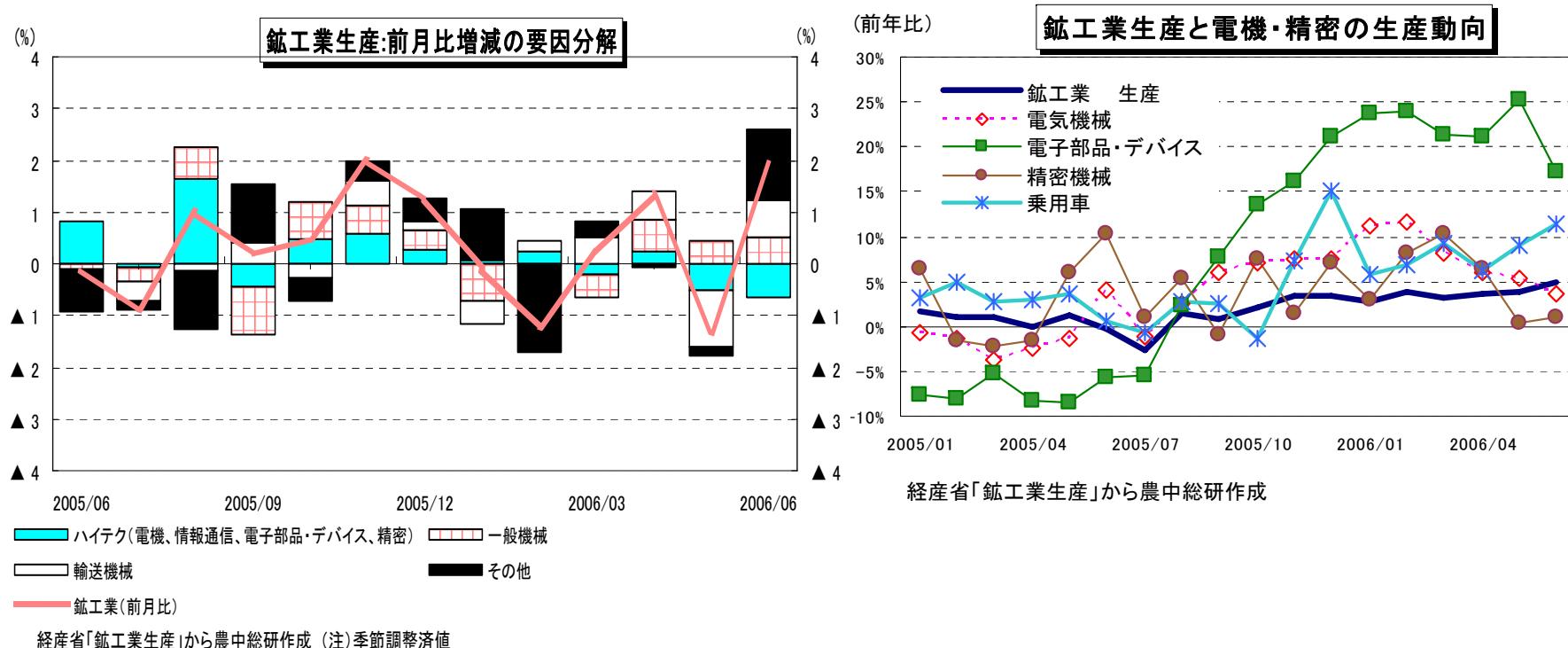


資料 経済産業省「鉱工業生産」

(注) 予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整済増減率

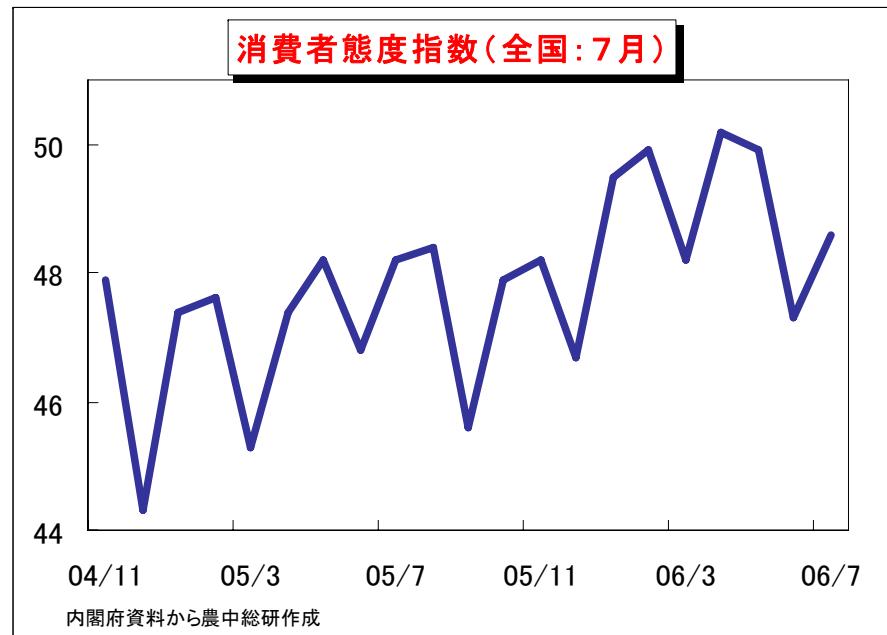
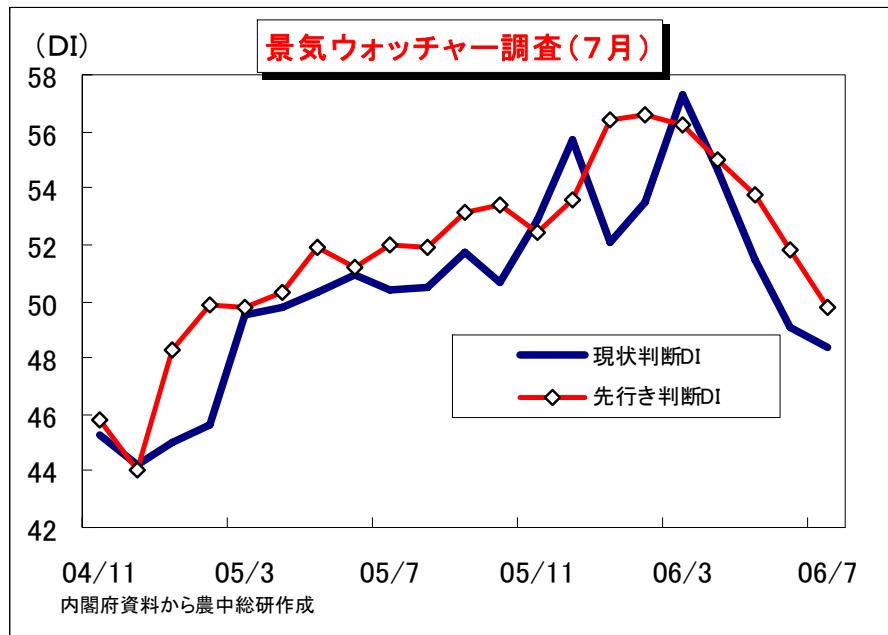
- 6月の鉱工業生産指数(確報)は前月比+2.1%と、2ヶ月ぶりのプラスとなり、過去最高を更新した。経産省では「総じてみれば、生産は上昇傾向にある」と前月まであった「緩やかに」の文言を取り除き、判断を上方修正した。
- 製造工業生産予測調査では、7月(同+2.2%)、8月(同+3.7%)と上昇傾向が続くことが見込まれている。ただし先行きは、IT関連財の在庫調整により生産が抑制される恐れがあるほか、米経済の減速による輸出の伸び悩み懸念など、決して楽観視できる状況にはない。

## 鉱工業生産②: ハイテク関連の伸びが鈍化



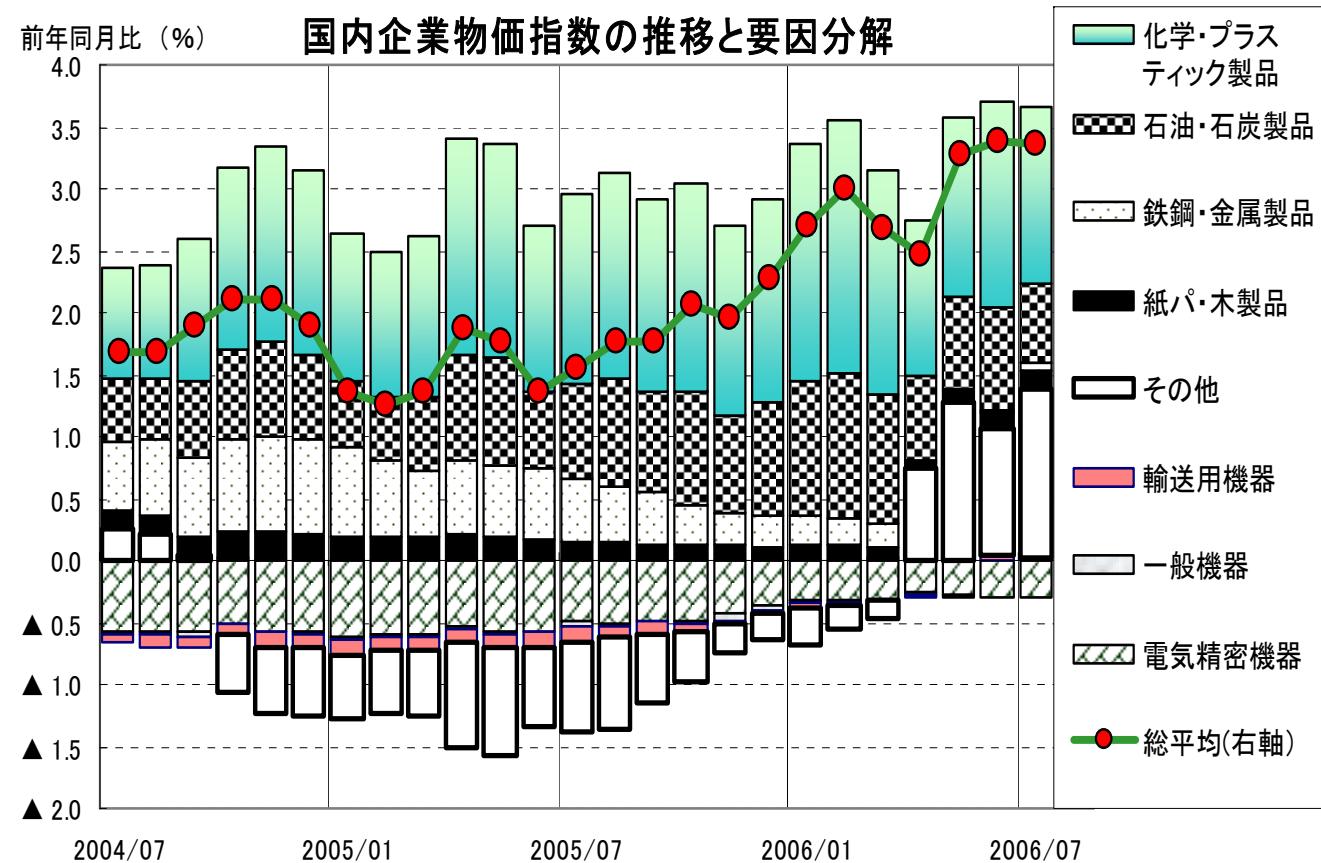
- 業種別の動向を見ると、6月は電子部品・デバイス工業などが低下し、輸送機械工業、一般機械工業、電気機械工業、情報通信機械工業などが上昇した。
- 品目別では、普通乗用車、小型乗用車、外部記憶装置、セパレート型エアコンなどの生産が増加した。
- 一方、電子部品・デバイス等ハイテク関連業種の生産は前年比プラス幅が縮小。ただし、IT関連製品の在庫が積みあがっていることもあり、その動向には注意が必要。

# 個人消費：消費者マインドは4ヶ月連続で低下



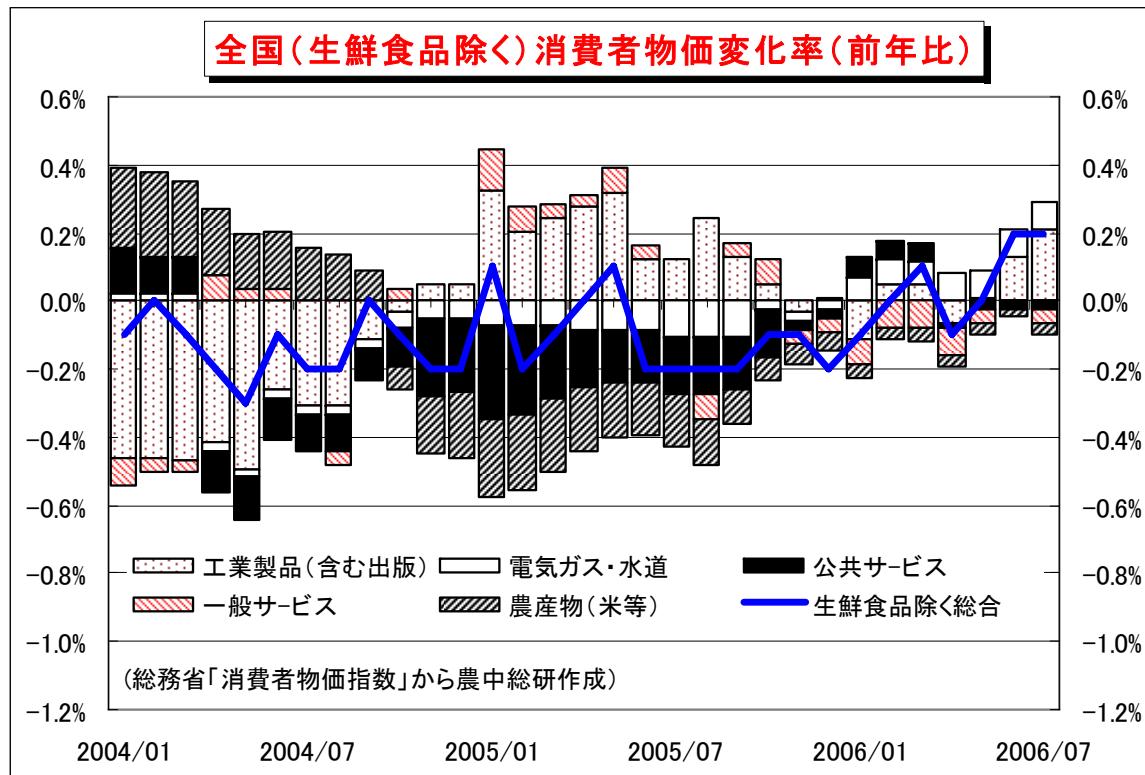
- 7月の景気ウォッチャー・現状判断DIは、前月比▲0.7ptの49.1と、3月(57.3)をピークに4ヶ月連続で低下。天候不順による夏物商品の伸び悩みや原油・原材料価格上昇の影響が継続していることなどによる。また、先行き判断DIも、同▲2.0ptの49.8と5ヶ月連続で低下している。
- 一方、家計の消費意欲を示す6月の消費者態度指数は48.6と、前月比では+1.3ptと3ヶ月ぶりに上昇したものの、前年比では+0.4ptの上昇に留まっている。景気回復持続を受けて雇用環境は改善傾向が続いているが、一部で逼迫気味に推移している面もあるが、全般的に見れば賃金上昇率は低めに抑制された状態が続いている。

# 企業物価：国際商品市況は高止まり継続



- 7月の企業物価は、電力の夏季割増料金適用や原油・非鉄金属価格上昇もあり、前月比+0.7%。前年比では2ヶ月連続して+3.4%の上昇。
- 国際商品市況は8月上旬にかけては再び上昇していたが、足元では、世界経済の景気減速懸念もありやや調整する動きとなっている。ただし、水準的には高い状態が続いているといえるだろう。
- 7月は国内生産の資本財・消費財とも前年比横ばいと、下げる止まりが確認された。素原材料価格の上昇や為替レートが円安気味で推移するなど、企業物価上昇の主因である状況は変わりはないが、徐々に川上・川中から川下への価格波及も進展する兆しも見え始めた。

# 消費者物価：2005年基準への改訂で前年比プラス幅は縮小



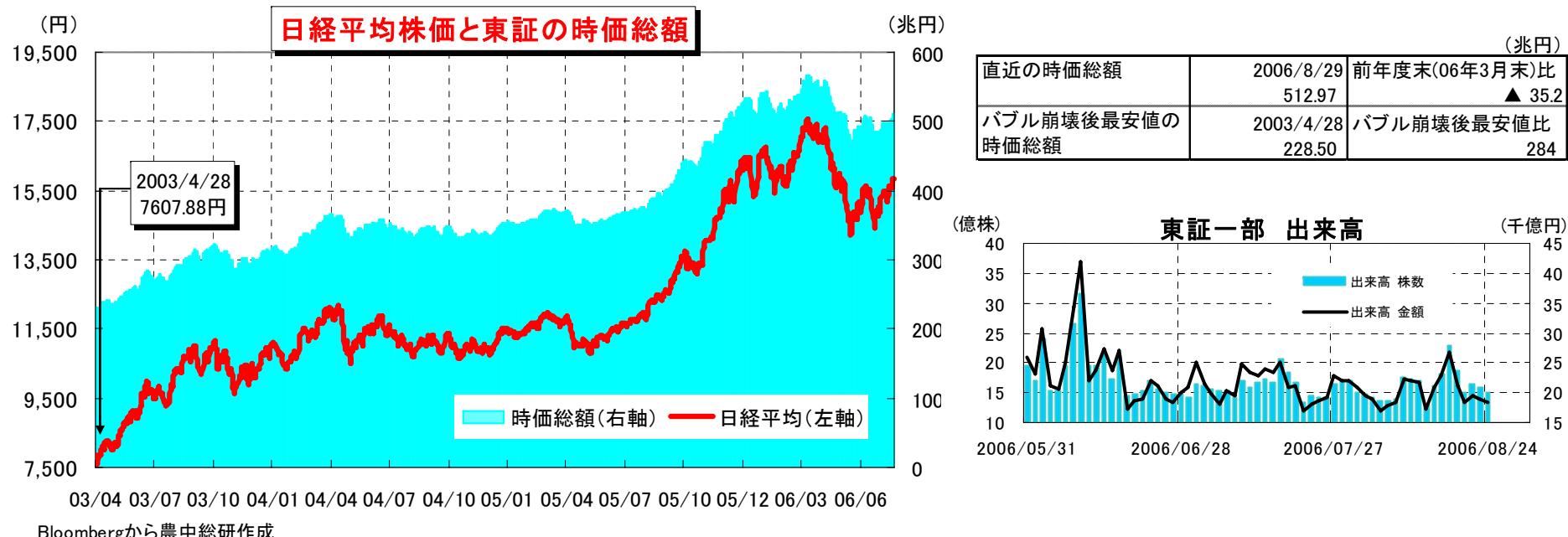
- 消費者物価は8月発表分から基準年次の改訂(2000年基準→2005年基準)を行った。これに伴って06年1~7月については前年比上昇率が▲0.5%pt程度押し下げられたが、市場予想(▲0.2~▲0.3%pt)よりも大幅な改訂となり、早期利上げ観測は大きく後退した。
- 7月の消費者物価(除く生鮮食品)は前年比+0.2%と、2ヶ月連続で前年比プラスとなった。原油高を背景に灯油やガソリン(レギュラー)の上昇が続き、物価を押し上げた。なお、欧米方式でのコアCPIである「食料(除く酒類)・エネルギーを除く総合」は前年比▲0.3%と依然として水面下での推移。価格下落の激しいハイテク家電などの影響を大きく受けているものと思われる。
- 当面は原油価格の高止まりや、化学繊維製品や航空運賃・外国パック旅行などといった周辺財への価格波及により、小幅な前年比プラス状態が維持するとみられる。先行きもマクロ的な需給改善傾向が持続すれば、緩やかながらもプラス幅が拡大する可能性が高い。

# 長期金利：新発10年国債利回り、一時1.7%割れ



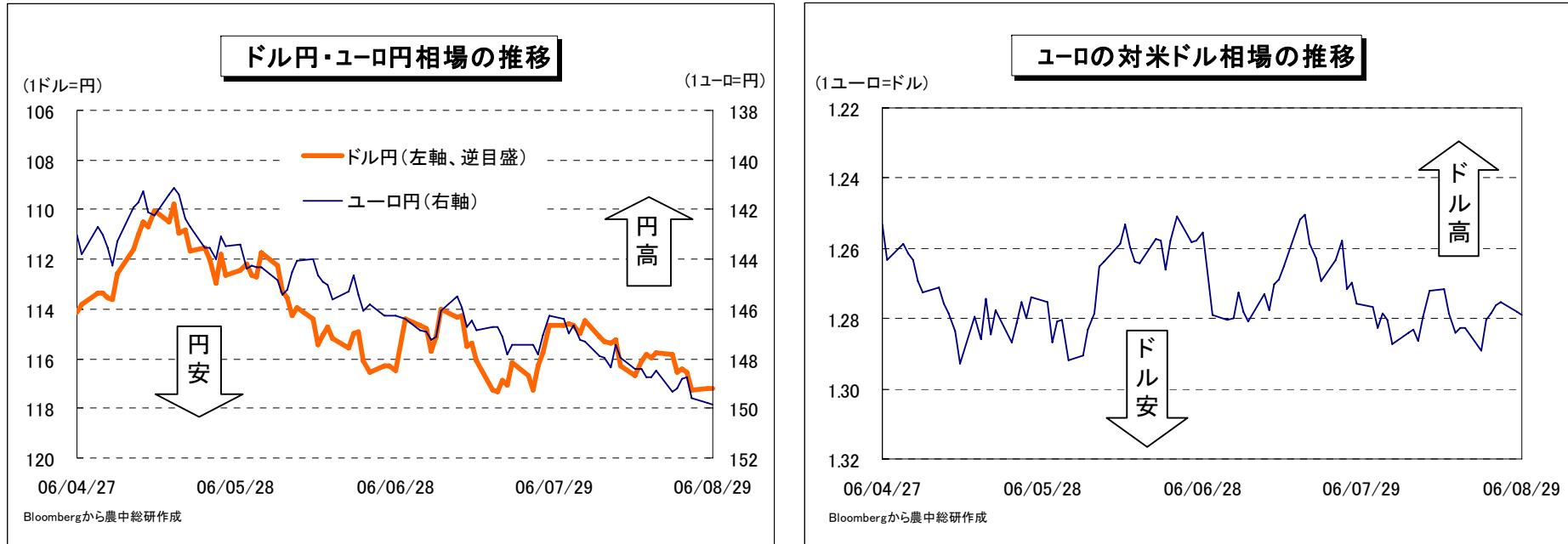
- 長期金利の目安である新発10年国債利回りは、06年明け以降、量的緩和政策解除の思惑の高まりから、金利水準全体が上昇するとの観測が織り込まれ上昇傾向が強まった。
- 量的緩和政策が解除された3月9日以降は急速に上昇し、5月中旬には一時2.0%台を上回る場面もあったが、その後は1.9%前後でのもみ合いとなつた。
- 7月14日に日銀はゼロ金利政策解除を決定したが、「今後の金利調節はゆっくりと行う」との日銀からのメッセージを受けて、追加利上げ時期が後ズレしたため、長期金利は落ち着いた動きとなつた。
- 8月25日の消費者物価の基準改訂を受けて、早期利上げ観測は更に後退、長期金利は一時1.7%割れとなるなど、足元の金利水準は全般的に低下。

# 株価：7月中旬以降は戻り基調、日経平均16,000円前後でもみ合い



- 直近の時価総額は、バブル崩壊後の最安値時に比べ約284兆円増加し、513兆円（8月29日現在）となっている。
- 日経平均株価は、新年度入り直後は景気回復の継続や企業収益の拡大等を背景に続伸し、一時17,500円台（4月7日）まで上昇した。
- しかし、その後は、世界的な過剰流動性解消の動きや米経済・金融政策に対する先行き不透明感などを背景に調整が進み、6月中旬には14,200円台まで下落。なお、このところは持ち直しの動きも見られ、16,000円前後でのもみ合いとなっている。

# 為替動向：日本の早期利上げ観測後退から円安圧力高まる



- ・ 外国為替市場では、4月21日のG7声明で中国をはじめとするアジア諸国に対し通貨上昇を容認するよう求めたことから、これをきっかけにアジア通貨全般に上昇圧力がかかり円高・ドル安が急激に進んだ。5月8日には一時1ドル=109円台と昨年9月以来の円高・ドル安の水準となった。
- ・ その後は、米国でのインフレ率上昇を受けて追加利上げ観測が強まり、再びドル高方向に動いたが、8月FOMCでの利上げ休止という見方が強まると、その動きは一服。しかしながら、8月下旬以降は、日本でも早期利上げ観測が大きく後退したことから、再び円安・ドル高気味に推移している。
- ・ ユーロ・ドル相場は、ユーロ圏の金利先高観やドル資産回避の動きも見られ、5月15日には一時1ユーロ=1.2972ドルと年初来高値を更新。その後は1.25ドル台に小安くなったが、このところは1.27ドル台とユーロ高圏内で推移している。

# 政府、日銀の景気判断：政府・日銀とも判断据え置き

年 月		政府月例報告		日銀金融経済月報	
2005年	8月		緩やかに回復している		IT(情報技術)関連分野における調整が進むもとで、回復を続けている
	9月		緩やかに回復している		回復を続けている
	10月		緩やかに回復している		回復を続けている
	11月		緩やかに回復している		回復を続けている
	12月		緩やかに回復している		回復を続けている
2006年	1月		緩やかに回復している		着実に回復を続けている
	2月		回復している		着実に回復を続けている
	3月		回復している		着実に回復を続けている
	4月		回復している		着実に回復を続けている
	5月		回復している		着実に回復を続けている
	6月		回復している		着実に回復を続けている
	7月		回復している		穏やかに拡大している
	8月		回復している		穏やかに拡大している

内閣府「月例経済報告」、日銀「経済月報」より農中総研作成（注）矢印は景気判断の方向を示す。

- 政府は、8月の月例経済報告で、「回復している」と景気の基調判断を6ヶ月連続で据え置き。民間需要が底堅く推移しているという認識は変わらず。先行きも、国内民間需要に支えられた景気回復が続くとの見通し。なお、政府は次回9月の同報告で「デフレ脱却」を宣言するとみられる。
- 日銀は、8月の金融経済月報で、「穏やかに拡大している」と前月の判断を据え置き。先行きについても「緩やかに拡大していく」と前月の判断を踏襲。

# 内外金融市場データ:

日付	長期金利				短期金利				外国為替			内外株価指数			海外金利			その他						
	新発10年国債利回	債先10年物中心限月	みずほコボ新発5年金融債利回	金利スワップレート5年物(円~円)仲値	無担保コール翌日物	TIBORユーロ円3ヵ月	LIBOR円3ヵ月	TIBORユーロ円6ヵ月	金利先物(利回り)中心限月	円ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ・ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ円スポットレート東京17:00現在	日経平均(225種)	TOPIX終値	NYダウ工業株30種平均	ナスダック総合	米国財務省証券10年物国債利回	LIBORドル3ヵ月	独国10年物国債利回	NY金先物・期近	WTI期近	OPECバスケット価格		
06/07/05	1.975	130.99	1.705	1.665	0.023	0.3590	0.370	0.440	1.105	115.04	1.273	146.76	15,523.94	1,589.97	11,151.82	2,153.34	5.220	5.49	4.137	629.70	75.19	67.92		
06/07/06	1.975	130.90	1.726	1.672	0.024	0.3660	0.378	0.449	1.110	115.57	1.278	147.27	15,321.40	1,572.29	11,225.30	2,155.09	5.179	5.51	4.113	636.30	75.14	68.74		
06/07/07	1.950	131.15	1.704	1.644	0.020	0.3730	0.384	0.455	1.105	114.94	1.281	146.88	15,307.61	1,573.15	11,090.67	2,130.06	5.126	5.51	4.065	634.80	74.09	68.77		
06/07/10	1.970	131.04	1.714	1.653	0.037	0.3790	0.389	0.461	1.115	113.56	1.273	145.38	15,552.81	1,594.07	11,103.55	2,116.93	5.124	5.50	4.087	626.10	73.61	67.90		
06/07/11	1.965	131.20	1.686	1.629	0.069	0.3870	0.399	0.466	1.090	114.27	1.277	145.59	15,473.82	1,585.85	11,134.77	2,128.86	5.100	5.50	4.051	643.10	74.16	68.10		
06/07/12	1.930	131.61	1.646	1.587	0.066	0.3930	0.404	0.474	1.050	114.55	1.270	146.07	15,249.32	1,563.69	11,013.18	2,090.24	5.098	5.50	4.087	651.20	74.95	68.66		
06/07/13	1.910	131.77	1.635	1.571	0.058	0.4060	0.412	0.483	1.035	115.12	1.269	146.43	15,097.95	1,551.03	10,846.29	2,054.11	5.063	5.51	4.048	654.40	76.70	70.38		
06/07/14	1.855	132.45	1.554	1.502	0.089	0.4120	0.406	0.489	0.960	115.68	1.265	146.59	14,845.24	1,521.71	10,739.35	2,037.35	5.063	5.50	3.983	668.00	77.03	71.71		
06/07/17	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	10,747.36	2,037.72	5.063	5.49	3.993	651.90	75.30	71.43
06/07/18	1.825	132.64	1.520	1.482	0.302	0.4170	0.405	0.491	0.930	116.89	1.251	146.57	14,437.24	1,475.28	10,799.23	2,043.22	5.130	5.50	4.014	629.50	73.54	70.29		
06/07/19	1.840	132.40	1.555	1.504	0.274	0.4260	0.406	0.498	0.955	117.55	1.259	146.81	14,500.26	1,475.42	11,011.42	2,080.71	5.049	5.52	3.984	642.80	72.66	68.74		
06/07/20	1.810	132.62	1.534	1.485	0.263	0.4300	0.402	0.501	0.950	116.78	1.263	147.19	14,946.84	1,528.59	10,928.10	2,039.42	5.026	5.51	3.985	632.50	73.08	68.45		
06/07/21	1.815	132.65	1.529	1.481	0.258	0.4300	0.402	0.502	0.955	116.31	1.269	147.27	14,821.26	1,515.53	10,868.38	2,020.39	5.040	5.49	3.956	620.20	74.43	68.46		
06/07/24	1.850	132.33	N.A.	1.518	0.267	0.4310	0.403	0.503	0.980	116.73	1.264	147.34	14,794.50	1,514.22	11,051.05	2,061.84	5.042	5.49	3.956	613.20	75.05	67.99		
06/07/25	1.870	132.24	1.581	1.538	0.253	0.4320	0.405	0.505	1.000	116.83	1.258	147.77	15,005.24	1,534.82	11,103.71	2,073.90	5.063	5.49	3.963	618.00	73.75	68.71		
06/07/26	1.855	132.37	1.569	1.529	0.261	0.4320	0.404	0.505	0.995	116.89	1.272	146.94	14,884.07	1,520.44	11,102.51	2,070.46	5.030	5.50	3.983	621.90	73.94	68.27		
06/07/27	1.870	132.35	1.569	1.532	0.264	0.4320	0.407	0.506	0.985	115.97	1.270	147.68	15,179.78	1,541.81	11,100.43	2,054.47	5.034	5.49	3.948	632.50	74.54	69.07		
06/07/28	1.925	131.95	1.569	1.572	0.249	0.4350	0.413	0.509	1.000	115.57	1.276	146.69	15,342.87	1,559.41	11,219.70	2,094.14	4.990	5.49	3.920	634.80	73.24	68.97		
06/07/31	1.915	132.00	1.611	1.571	0.267	0.4360	0.413	0.511	0.995	114.47	1.277	145.96	15,456.81	1,572.01	11,185.68	2,091.47	4.979	5.47	3.921	634.20	74.40	68.42		
06/08/01	1.915	132.00	1.617	1.576	0.253	0.4360	0.417	0.511	1.015	114.76	1.283	146.16	15,440.91	1,567.01	11,125.73	2,061.99	4.975	5.47	3.929	646.30	74.91	69.97		
06/08/02	1.900	132.33	1.588	1.549	0.216	0.4360	0.415	0.511	1.000	114.44	1.279	146.56	15,464.29	1,569.65	11,199.93	2,078.81	4.963	5.47	3.934	651.60	75.81	71.20		
06/08/03	1.880	132.45	1.573	1.535	0.234	0.4360	0.414	0.511	0.985	114.81	1.280	146.55	15,470.37	1,569.53	11,242.59	2,092.34	4.959	5.48	3.974	644.90	75.46	71.08		
06/08/04	1.880	132.37	1.584	1.544	0.255	0.4360	0.416	0.511	0.990	115.27	1.287	147.43	15,499.18	1,571.70	11,240.35	2,085.05	4.893	5.50	3.906	644.00	74.76	71.09		
06/08/07	1.835	132.82	1.540	1.500	0.250	0.4350	0.413	0.511	0.960	114.60	1.284	147.60	15,154.06	1,540.12	11,219.38	2,072.50	4.919	5.44	3.907	647.80	76.98	72.12		
06/08/08	1.845	132.69	1.556	1.515	0.249	0.4350	0.412	0.511	0.965	115.09	1.283	147.79	15,464.66	1,562.73	11,173.59	2,060.85	4.917	5.45	3.903	645.70	76.31	72.64		
06/08/09	1.845	132.56	1.564	1.526	0.251	0.4350	0.413	0.510	0.970	115.36	1.286	148.16	15,656.59	1,578.43	11,076.18	2,060.28	4.937	5.40	3.934	650.50	76.35	72.53		
06/08/10	1.900	132.10	1.613	1.575	0.262	0.4350	0.414	0.510	0.990	114.91	1.279	147.74	15,630.91	1,582.88	11,124.37	2,071.74	4.931	5.40	3.933	634.90	74.00	70.94		
06/08/11	1.850	132.68	1.557	1.525	0.258	0.4350	0.414	0.510	0.970	115.69	1.272	147.90	15,565.02	1,577.92	11,088.03	2,057.71	4.969	5.41	3.981	633.50	74.35	70.34		
06/08/14	1.880	132.30	1.593	1.562	0.256	0.4350	0.410	0.510	0.990	116.53	1.272	148.47	15,857.11	1,601.02	11,097.87	2,069.04	4.995	5.42	4.006	628.50	73.53	69.54		
06/08/15	1.855	132.42	1.581	1.555	0.222	0.4350	0.417	0.510	0.995	116.36	1.279	148.22	15,816.19	1,605.12	11,230.26	2,115.01	4.929	5.43	3.970	622.50	73.05	69.01		
06/08/16	1.830	132.74	1.551	1.528	0.241	0.4350	0.416	0.510	0.980	116.05	1.284	148.42	16,071.36	1,629.73	11,327.12	2,149.54	4.859	5.41	3.932	628.70	71.89	68.24		
06/08/17	1.825	132.86	1.537	1.515	0.250	0.4350	0.418	0.510	0.975	115.32	1.283	148.42	16,020.84	1,631.46	11,334.96	2,157.61	4.863	5.39	3.920	615.40	70.06	66.85		
06/08/18	1.850	132.60	1.563	1.541	0.255	0.4350	0.420	0.510	0.990	116.04	1.283	148.84	16,105.98	1,641.45	11,381.47	2,163.95	4.841	5.40	3.902	612.10	71.14	66.99		
06/08/21	1.815	133.05	1.516	1.503	0.251	0.4350	0.415	0.510	0.965	115.52	1.289	148.94	15,969.04	1,624.21	11,345.05	2,147.75	4.811	5.40	3.861	625.70	72.45	67.92		
06/08/22	1.800	133.18	1.495	1.484	0.247	0.4350	0.417	0.510	0.945	116.29	1.280	149.70	16,181.17	1,641.77	11,339.84	2,150.02	4.809	5.40	3.808	624.60	72.63	67.98		
06/08/23	1.795	133.12	1.507	1.489	0.245	0.4350	0.417	0.510	0.950	116.22	1.279	149.09	16,163.03	1,640.28	11,297.90	2,134.66	4.807	5.40	3.827	623.70	71.76	67.45		
06/08/24	1.785	133.19	1.507	1.486	0.249	0.4350	0.419	0.510	0.945	116.54	1.276	148.77	15,960.62	1,623.03	11,304.46	2,137.11	4.799	5.40	3.809	619.50	72.36	67.01		
06/08/25	1.705	134.18	1.378	1.371	0.261	0.4340	0.399	0.508	0.815	117.17	1.275	149.64	15,938.66	1,619.81	11,284.05	2,140.29	4.779	5.40	3.793	622.00	72.51	N.A.		
06/08/28	1.680	134.47	1.339	1.320	0.255	0.4330	N.A.	0.500	0.785	117.06	1.278	149.93	15,762.59	1,600.25	11,352.01	2,160.70	4.791		3.795	615.30	70.61	N.A.		
06/08/29	1.700	134.29	</td																					



# 農林中金総合研究所

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

©2006 Norinchukin Research Institute Co.,Ltd

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3

(株)農林中金総合研究所 調査第2部

TEL03-3243-7366